

令和2年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

4年

教科	指導上の課題の分析	指導のめあて	授業改善の視点	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートに考えたことを丁寧に表現することが難しい。 ○漢字を丁寧に書き、定着することが難しい。 ○考えを出し合い、学び合いから読みを深めることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートに自分の思考を表現する方法を知り、それを活用して表現することができる。 ○書き順、音訓読み、熟語など言葉として漢字をとらえ、とらえやすくする必要がある。また定着を図るために漢字テストなどで繰り返し指導する必要がある。 ○自分の考えを基に、友達のことを聞き比べることで、よりよい考えに深める学び合いの価値を感じ取ることができる授業を構築する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノート指導の徹底 ノート技術の方法知の指導 ○漢字の指導の工夫 ○質の高い学び合いが生まれる 授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノート指導の徹底が成されたとは言いがたい。成果としてはPCの入力技術が向上した。文字を書くことが苦手な子が多い学年のため、PCは非常に有効である。 ○一定の成果は得られた。ワークシートの学力の定着度は向上した。

社会	<p>○社会的事象に興味関心をもち、自ら学習課題を設定し、解決する活動を通して、主体的に学習し、学んだことを社会生活に生かす態度を育成していく必要がある。</p> <p>○学習問題に必要な資料は何かを判断し、資料を正確に読み取る力を伸ばす必要がある。</p>	<p>○身近な社会的事象から課題を設定したり、学習計画を立てたりして、自分の課題として追究していく力を育てる。また、学んだことを実生活にどのように生かせるか考え、実践する力を育てる。</p> <p>○学習問題に必要な情報を集め、読み取り、まとめるなどの資料を活用する力を育てる。</p>	<p>○体験活動を重視し、興味・関心をもったことから、どのように課題設定をするのかを全員で考える機会をとる。また単元のまとめにおいて、学習を振り返る時間をとる。</p> <p>○学習問題に関連している資料を見分けて、グラフや表の突出しているところや、全体の傾向を読み取る時間を十分とるようにする。</p>	<p>○コロナ禍で体験的な学習は厳しいものであったが、その分PCを活用した授業を展開できた。</p> <p>○その成果もあり、データやグラフを読みとる力は向上している。</p>
理科	<p>○学習の進め方の定着が十分でない。</p> <p>○自然事象や実験・観察結果から、共通点や差異点を見出すことが難しい児童がみられる。また、それらの結果を、様々な自然事象と関連付けて</p>	<p>○見通しをもって学習を進めたり、自分の考えをわかりやすく記述したりする力を身に付ける。</p> <p>○自然事象や実験・観察結果から、共通点や差異点を見出したり、様々な自然事象と関連付けて考えたりする力を育てる。</p>	<p>○問題を解決していく学習過程をノート指導やワークシート、板書などを通して丁寧に指導する。</p> <p>○児童の考えを大切にし、その考えを調べるためには実験・観察の際にどこを見るべきなのか、視点を明示する。</p> <p>○観察・実験結果の共通点や差異点を見出しやすくする記録</p>	<p>○問題解決の過程をつくろうにもコロナ禍で子どもが望む実験がなかなかできない状況にあり、課題は残る。</p> <p>○PCを活用しながら、「生き物の一年」の記録を取るなど、コロナ禍を逆手にとって、記録をクラウドに残すことで容易に比較する学習を展開できるはずである。</p>

	考える力を育てる必要がある。		<p>方法を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験・観察結果まで予想させ、得られた結果を十分に検討、考察する時間をとる。 ○実体験や既習事項と関連していることはないかを考えるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師が働きかければ、実験・観察結果から、共通点や差異点を見出すことはできる。一部の児童が、自然事象と関連づけて考えることができ、それを全体で共有することでまとめをした。 ○結果は見たままを書くことができるようになった。結果から考察し、結論を導くことには課題が残る。予想をして、どのような結果が観察されるかを考えさせる必要がある。
体育	○体を動かすことや、ゲーム性のある活動は意欲が高いが、十分な運動技能が身に付いているとは言えない。	○児童の課題に応じた運動を取り入れ、発達段階にふさわしい運動技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ○苦手意識をもたないように、段階を追った活動（スモールステップの場）を設定する。 ○児童が自分の課題に沿って運動を選べるような場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○できない学習があったため、カリキュラムを入れ替えて臨機応変に対応できた。 ○PCを活用して、動きの比較を行うことができた。 ○課題に沿って学習するという指導計画にはまだ課題がある。
総	○調べたい事柄を見付け	○自分が興味をもったことを	○課題設定をクラス全体で行っ	○「防災宿泊」はできなかった

合	<p>られる児童は多いが、課題について多面的に考える視点に欠ける面もあり、課題を深めるにはどのような面からアプローチしたらよいか考えを広げる力を身に付ける必要がある。</p> <p>○設定した課題にふさわしい内容をまとめる力を身に付ける必要がある。</p>	<p>課題にして調べ学習ができるようにする。</p> <p>○課題に迫るためには、何を調べたらよいか考えられるようにする。</p> <p>○調べたいことを調べる力を付ける。</p> <p>○調べたことをまとめる力を付ける。</p>	<p>たり、2段階に分けて課題を設定し深めたりすることで、課題にふさわしい題材とは何か判断する力を育てる。</p> <p>○調べたいことを明確にし、疑問文で書くよう指導する。また、調べたことは箇条書きにするよう指導する。</p> <p>○調べた事柄を、はじめ・中・終わりの構成を意識して、課題にそってまとめるよう指導する。</p>	<p>が、カリキュラムをマネジメントしながらできることから学習を展開することができた。</p> <p>○児童の実態に即して3学期の総合の内容を変更したことは、子どもの成長過程を考えれば必要な対応であった。</p> <p>○PC や本など様々な媒体を通じて調べる力がついた。インタビューなどの対話、直接的な見学はできていない。</p> <p>○PC や模造紙など自分が調べた内容に合わせて分かりやすく構成して発表することができた。</p>
---	--	---	---	--